

山ノ内町都市計画マスタープラン 地区別懇談会 西部地区

日 時：令和4年9月20日（火）19：00～19：45

場 所：よませふれあいセンター

出席者：8人

- 1 挨拶
- 2 自己紹介
- 3 資料説明
- 4 質疑及び意見

（地元） アンケート調査項目について、不満と言われている「買い物の便利さ」、「公共交通機関の便利さ」がこれから高齢者増え、ますます不便になっていくと思うのです。そういった問題への対応が今後、特に必要になるのではないかと考えています。

（事務局） 公共交通については、車がないと不便なこともありますし、車がいままで運転できるかという問題もあります。その解決策としての交通手段が楽ちんバスなどになりますが、公共交通の担当と連携しながら今後進めていきたい。

（地元） 公共交通の問題については、私も一般質問を6月させていただきました。これからは高齢化がさらに進行する、あるいは地域の絆も変化していく。そうすると、今まで近隣で助け合われたことがなかなか難しい例もある。コロナ禍ですから、さらに悪い状況が重なっているような気がします。

そんなときに、長野電鉄さんの路線バスがあるけど、今後どういうことになるのか。高齢者等が運転免許を返納したときに、公共交通の対策をしっかりとしないと、高齢者の足を奪う。それが健康にも影響する。そうすると、さらに公共交通が悪化していく。

ですので利用することが重要。私も今回楽ちんバス、全路線バスに乗らせてもらいました。中野市の公共交通にも乗らせてもらいました。やはり山ノ内町の公共交通は利用が少ないです。特に菅線は私しか利用者がいませんでした。そのような状況で長電バスさん維持してくださいというのが可能かどうか、私は非常に疑問だと思っています。

従って、地域交通を考えるときには、デマンド含めたその体制、それから住民がしっかり利用できる体制をしっかりと検討していただきたいと思います。

(事務局) 利用者のニーズ、そういったものを的確に捉えてやっていくことが大事だと思います。

(地元) 観光と農業の町ということで、なかなか町の観光業と農業が協働して何かやれるような案、プランをもっと増やしてほしいと思います。今後を考えると、観光の人たちももっと農業を利用するぐらいの発想を持ってもらった方がいいのではないかなと思う。ただただ温泉と山だけみたいな発想の方がとても多いのではないかと。交流もあまりあるとは思えません。観光の人たちは農業をもっと利用するなどその価値があるのではないかと思うのです。検討してください。

(事務局) 参考にさせていただきます。

(地元) 観光・農業主体のということで出てはくるのですけれども、山ノ内町で働いてもらうためのまちづくりというのは見たことがないのです。企業を呼ぼうとか、そういうことというのは一度もまだ見たことありません。山ノ内町の現状として中野市や長野市まで出ていかななくてはいけない。

であれば、山ノ内町の中に住んで山ノ内町の中でお仕事ができる。近年、リモートワーク等々で他の市町村では、外から企業を呼んできて自分のところの空いている建物を使って仕事をしてくださいというようなのをやっていますよね。そういうアイデアは、役場の中では出てこないものなののでしょうか。

(事務局) 他の地区でもそういうご意見、ご提案を頂きました。確かに雇用を創出するような目標・方針などを記述すべきではないかというのは、ご意見を伺った上で詰め込んでいきたいなどは考えています。町でもDX推進室というのを設けました。そういった技術などを生かして、リモートワークの拠点を作るなどで雇用を創出していけるような施策を私たちも検討していけたらと思います。

(事務局) 以上をもちまして山ノ内町の都市計画マスタープラン西部地区の懇談会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。